

大東亞共榮圈と香港の中継貿易港問題	板橋菊松	160
比島經濟の發展	青木孝義	181
南蛮文化と我が國民性	吳文炳	194

第15卷 第1～3号 (1943年1月)

論 文

高度国防国家と經濟政策	河津暹	1
大東亞支配の思想史的發展〔上〕	鈴木憲久	22
東亞共榮圈通貨制度の根本觀	青木孝義	57
マイルネスにおける「賃銀の理論」	加藤一雄	70
貿易業の整備統合に就て	高橋芳三	103
南方圈の華僑問題	北沢宥勝	120
金融統制と普通銀行改組問題	永田鉄三	148
作業工程管理の實際	大沼健吉	160

第15卷 第4～6号 (1943年4月)

論 文

日本世界觀と經營經濟学の方法に関する私見	宇尾野宗尊	1
古代印度の船舶・航海・貿易	松葉栄重	39
轉換社債の特質及會計問題	平岡市三	73
諸民族間に於ける結婚、育児の種々相	早田正雄	100
ウールフ『古代會計史』	片岡義雄	132

翻 訳

独逸の戦時食糧供給問題	後藤国吉	182
-------------	------	-----

第16卷 第1～3号 (1943年9月)

論 文

國民經濟有機體觀に於ける企業の自律性	宇尾野宗尊	1
大東亞支配の思想史的發展〔中〕	鈴木憲久	33
社債の償還方法及其の記帳法	平岡市三	67
株式取引所限月問題	永田鉄三	99
戦時工業金融の諸問題	大沼健吉	133
統制会の任務と権限	永田菊四郎	177
日向飢肥藩の田制と林制	飯田照夫	215

第16卷 第4～6号 (1946年4月)

論 文

社債利子の會計問題……………	平岡市三	1
財政と貨幣		
——貨幣の政治性について—— ……	小林幾次郎	11

第17卷 第1～3号 (1947年4月)

論 文

いわゆる「生産三要素」について……………	山 県 一 雄	1
王朝時代演藝「座」の形成……………	尾 形 亀 吉	22
展 望		
経済学の課題……………	山 県 一 雄	33
紹 介		
ジェヴォンス『貨幣及び交換の機構』……………	田 中 稔	42

第17卷 第4～6号 (1948年3月)

論 文

17世紀アメリカ経済思想の二・三の特徴		
——アメリカ経済思想研究のための覚え書—— ……	岡 本 清 造	1
経営の民主化と労働組合……………	大 沼 健 吉	19
紹 介		
サミュエルソン『ケインズ卿と一般理論』……………	田 中 稔	51

第18卷 第1～6号 (1949年2月)

松葉博士・青木博士 記念論文集

論 文

松葉・青木両博士の慶祝発刊によせて……………	呉 文 炳	
租税と所得……………	小 林 幾 次 郎	1
経済の始原		
——経済学対象規定のために—— ……	山 県 一 雄	18
男子女子計算能力の実証による比較研究……………	山 崎 与 右 衛 門	37
現下の為替問題……………	高 橋 芳 三	58
労働基準法と日本資本主義……………	大 沼 健 吉	75
17世紀アメリカ貿易思想の二・三の特徴(一)……………	岡 本 清 造	92

勘定理論の史的発展

——勘定学説の基本的諸問題——	小田切 松 義	124
貨幣理論と經濟理論の綜合の場としての動態經濟	田 中 稔	152
戦後日本の協同組合		
——主としてロチデール原則との関連より見たる——	土 屋 重 隆	170
近世經濟体制下の奢侈禁令研究序論	尾 形 龜 吉	196
ルカ・パチョーリの生涯とその簿記理論	片 岡 義 雄	236
投資の研究	岩 田 耕 作	262
事業国営と公共会社	山 城 章	275
証券市価統制と取引所の機能	上 林 正 矩	297
営利行為是認思想の理論的源流	井 関 孝 雄	315
国産自動車工業の将来	伊 藤 長 正	328
端初期のコルホーズについて	的 場 德 造	351
社会科教程序説	吉 沢 文 男	373
「一般理論」に於けるケインズの価格理論	井 手 生	385
隨筆・近松の心中物に於ける經濟学	吳 文 炳	393
松葉栄重博士略歴及び著書目録		401
青木孝義博士略歴及び著書目録		405

第19卷 第1号 (1949年7月)

論 文

荀子の經濟論と初期の經濟学説	鈴 木 憲 久	1
17世紀アメリカ貿易思想の二・三の特徴(二)	岡 本 清 造	27
近世經濟体制と奢侈禁令		
——時代的考察を中心として——	尾 形 龜 吉	49
紹 介		
ケインズと經濟制度	井 手 生	60

第19卷 第2号 (1949年9月)

論 文

中小商工業者の金融と中央銀行	大 館 堯 寿	1
近世經濟体制と奢侈禁令(二)		
——時代的考察を中心として——	尾 形 龜 吉	30

第19巻 第3号 (1949年12月)

論 文

アメリカにおける食料品の小売経営施設, 就中スーパー, マーケットに

就いて……………	上 林 正 矩	1
パチョーリ「簿記論」の祖述者……………	片 岡 義 雄	22
紹 介		
ハッチンス著『近代産業に於ける婦人』……………	小 林 巧	51

第19巻 第4号 (1950年3月)

論 文

中小商工業と中央銀行……………	大 館 堯 寿	1
氏族時代の社会と経済……………	尾 形 亀 吉	33
リストの国民主義的立場と世界経済論 ——リスト批判のための若干の覚書——……………	岡 村 邦 輔	57

第20巻 第1号 (1950年6月)

論 文

ルイ・ブラン(一)……………	戸 田 正 雄	1
産業合理化の基本問題……………	伊 藤 長 正	42
紹 介		
ノールズ, トムソン著『工業経営』……………	土 屋 嘉 一 郎	61

第20巻 第2号 (1950年9月)

論 文

ルイ・ブラン(二)……………	戸 田 正 雄	1
パチョーリ「簿記論」の一齣……………	片 岡 義 雄	16
中世英国の婦人労働(その一)……………	小 林 巧	54

第20巻 第3号 (1950年12月)

論 文

金本位制度とブレトンウッズ協定……………	大 館 堯 寿	1
マルクス「商品論」の方法について ——遊部久藏氏の教示を仰ぐ——……………	佐 々 木 晃	35

紹介

ポール・エム・スカージーの英国労働党観

——その著書『社会主義論』の紹介を兼ねて——……………小林 巧 75

第21卷 第1号 (1951年10月)

論文

古典派自由主義の再検討……………大館 堯 寿 1

貨幣数量説についての研究(一)

——現金取引数量説と現金残高数量説を中心として——……………田中 稔 19

中世英国の婦人労働(続)……………小林 巧 40

テイラア・システムについて……………土屋 嘉一郎 63

第21卷 第2号 (1951年12月)

論文

社会保障の財政経済的機能……………小林 幾次郎 1

マルクス主義社会主義の再検討(カール・マルクス, 1818-1883)……………大館 堯 寿 37

河川と其経済的効益に就て

——隅田川を引例して観察する——……………新井 啓 蔵 85

マルクス「抽象的労働論」の方法について

——再び遊部久藏氏の教示を仰ぐ——……………佐々木 晃 117

第21卷 第3・4号 (1952年3月)

論文

ケインズの雇傭, 利子及び貨幣の一般理論……………大館 堯 寿 1

中世演芸諸座の経済問題……………尾形 亀 吉 39

アメリカの消費組合について……………上林 正 矩 74

パチョーリ「簿記論」の一齣……………片岡 義 雄 90

初期資本主義と婦人労働-英国-……………小林 巧 105

第22卷 合併号 (1953年1月)

論文

財政支出としての社会保障費の分析……………小林 幾次郎 1

17世紀アメリカ植民思想の二, 三の特徴

——アメリカ経済思想史のためのノート——……………岡本 清 造 45

商店の内部疾患の診断法……………井関 孝 雄 92